

高等学校 令和 5 年度 (2 学年用)

教科 : 地理歴史 科目 : 世界史探究

単位数 : 3 単位

対象学年組 : 第 2 学年

教科担当者 : (1組:手島) (2組:今村) (3組:今村) (4組:手島) (5組:手島) (6組:手島) (7組:今村)

使用教科書 : 世界史探究 (東京書籍)

教科の目標 : 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事情について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるよう資す
- 【思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、抗争したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国

科目の目標 :

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|---|
| 教科書、資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身につける。 基本的な歴史用語を正確に理解し、自らの考察や表現、他生徒の考えを理解する。 | 諸地域の交流・再編にかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、自称相互の連関、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、間を表現すること。 | 生徒の考えが深まるような見解を提示しながら、生徒が多面的・多角的に考察する練習をしたり、事実を客観的に捉え公正に判断できるようにする。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 記 時 間 |
|--|---|---|---|---|---|-------------|
| 1 単元名 諸地域の交流・再編 | | | | | | |
| 【知識及び技能】 諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目させる。 | 【使用教材】 プリント・資料集 | 【知識及び技能】 大交易時代の世界地図を理解している。 | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりについて考察させる。 | 【指導項目・内容】 ・アジア交易圏の再編について ・ポルトガルのアジア進出 ・一体化に向かう世界 ・大交易時代の世界 | 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ人のアジア進出目的について理解できる。大交易時代のヨーロッパとアジアの社会変化について理解できる。 | ○ | ○ | ○ | 18 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりと地域的、文化的背景を表現させる。 | | 【学びに向かう力、人間性等】 スペインの新大陸系の結果、ネイティブ(インディオ)社会がどうなったのか、ネイティブの人口減や新たな黒人奴隷輸入から考察し、表現できる | | | | |
| 2 単元名 ヨーロッパの再編 | | | | | | |
| 【知識及び技能】 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想に基づく主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解させる。 | 【使用教材】 プリント・資料集 | 【知識及び技能】 イタリア戦争が契機となる主権国家体制について理解できる。 | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力等】 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想に基づく主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解させる。 | 【指導項目・内容】 ・宗教改革 ・主権国家体制の形成 ・西ヨーロッパの主権国家体制 ・東ヨーロッパの啓蒙専制国家 ・重商主義政策と植民地 | 【思考力、判断力、表現力等】 宗教改革と主権国家間の対立、ヨーロッパ社会の変化の関係を理解し、また、重商主義が果たした役割について理解できる。 | ○ | ○ | ○ | 18 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想に基づく主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解させる。 | | 【学びに向かう力、人間性等】 重商主義、国民産業、三角貿易、黒人奴隷貿易、産業革命に連関する資本の蓄積等グローバル化する世紀の人間の動きを理解できる。 | | | | |
| 1 単元名 国民国家と近代社会の形成1 | | | | | | |
| 【知識及び技能】 産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義の形成を構造的に理解させる。 | 【使用教材】 プリント・資料集 | 【知識及び技能】 大西洋三角貿易と産業革命について理解できる。産業革命と資本主義の成立について理解できる。フランス革命について理解できる。イギリスとアメリカ独立について理解できる。 | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義の形成を構造的に理解させる。 | 【指導項目・内容】 ・産業革命と工業化 ・アメリカ合衆国の独立 ・フランス革命とウィーン体制 | 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義の問題点を考察し、表現できる。フランス革命の意義について考察し、表現できる。 | ○ | ○ | ○ | 21 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義の形成を構造的に理解させる。 | | 【学びに向かう力、人間性等】 自由主義とナショナリズムのめざしたものと限界について考え、表現できる。 | | | | |
| 2 単元名 国民国家と近代社会の形成2 | | | | | | |
| 【知識及び技能】 産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義の形成を構造的に理解させる。 | 【使用教材】 プリント・資料集 | 【知識及び技能】 ウィーン体制とその崩壊について理解できる。ナショナリズムの台頭、ドイツ、イタリアの独立を理解できる。 | | | | |
| 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義の形成を構造的に理解させる。 | 【指導項目・内容】 ・自由主義の台頭、七月革命、二月革命 ・19世紀後半のヨーロッパ ・南北アメリカの発展 | 【思考力、判断力、表現力等】 自由主義の台頭とヨーロッパの諸革命について考察し、当時の市民の政治への思いを理解し表現できる。 | ○ | ○ | ○ | 21 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義の形成を構造的に理解させる。 | | 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパで国民国家が成立し、定着していく過程と資本主義の進展を重ねて考察し表現できる。 | | | | |

| | 単元の具体的な 指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 間 |
|---|--|---|--|---|---|---|------------------|
| 3 学 期 | 1 単元名 世界市場の形成とアジア諸国の変容 | | | | | | |
| | 【知識及び技能】 世界市場の形成とアジア諸国の動向にかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域のつながりについて知る。 | 【使用教材】 プリント、資料集 | 【知識及び技能】 資本主義とその問題点を考察できる。フランス革命の意義について考察できる。 | ○ | ○ | ○ | 18 |
| | 【思考力、判断力、表現力等】 世界市場の形成と諸地域相互のつながりについて、資料を比較しながら具体的に考察させる。 | 【指導項目・内容】 ・産業資本主義の世界への波及 ・南アジア、東南アジアの植民地化 ・アヘン戦争 ・イギリスの「自由貿易」 | 【思考力、判断力、表現力等】 産業資本主義が世界に拡大し、世界が「資本主義社会」に変容していく過程について考察し、表現できる。 | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 世界市場形成過程の労働力の移動、イギリス覇権の特徴、アジア諸国の変容など多面的、多角的に考察させる。 | | 【学びに向かう力、人間性等】 イギリスが掲げる「自由貿易」がアジア諸国に何をもたらし、アジア諸地域どのように変容したのか考察し表現できる。 | | | | | |
| 3 学 期 | 2 単元名 帝国主義 | | | | | | |
| | 【知識及び技能】 第二次産業革命と帝国主義諸国間の対立、アジアの変容と並行して進む世界分割とナショナリズムの高揚を構造的に理解させる。 | 【使用教材】 プリントと資料集 | 【知識及び技能】 第二次産業革命について理解できる。帝国主義と植民地争い、また世界分割の関連について理解できる。ナショナリズムについて理解できる。 | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解させる。 | 【指導項目・内容】 ・第二次産業革命と独占資本 ・第一次世界大戦 ・ヴェルサイユ体制 ・（ロシア革命） | 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の構造について理解し表現できる。 | | | | |
| 【学びに向かう力、人間性等】 世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策、アジア諸国のナショナリズムを多面的、多角的に考察し表現させる。 | | 【学びに向かう力、人間性等】 資本主義体制に組み込まれ、植民地となった南アジア、東南アジア地域とそこから生まれたナショナリズムと理解し、表現できる。 | | | | | |